

# ひまわり通信



日本共産党  
市川市会議員  
ひろたのりこ  
廣田徳子



日本共産党控室  
市川市八幡1-1-1  
334-1111 (4592)  
塩焼2-2-1-311  
397-7836 (夜間)

2017.9.3

NO.35



ご協力ありがとうございました。  
1200通を超え  
多くの回答で、例年より  
多くの具体的な記述が  
現地の写真を撮る  
要望をまとめて  
書だけではなく  
早く市へ要望  
提出したいと  
思っています。

うございました。  
ご協力ありがとうございました。  
1200通を超え  
多くの回答で、例年より  
多くの具体的な記述が  
現地の写真を撮る  
要望をまとめて  
書だけではなく  
早く市へ要望  
提出したいと  
思っています。

うございました。  
ご協力ありがとうございました。  
1200通を超え  
多くの回答で、例年より  
多くの具体的な記述が  
現地の写真を撮る  
要望をまとめて  
書だけではなく  
早く市へ要望  
提出したいと  
思っています。

うございました。  
ご協力ありがとうございました。  
1200通を超え  
多くの回答で、例年より  
多くの具体的な記述が  
現地の写真を撮る  
要望をまとめて  
書だけではなく  
早く市へ要望  
提出したいと  
思っています。

うございました。  
ご協力ありがとうございました。  
1200通を超え  
多くの回答で、例年より  
多くの具体的な記述が  
現地の写真を撮る  
要望をまとめて  
書だけではなく  
早く市へ要望  
提出したいと  
思っています。

うございました。  
ご協力ありがとうございました。  
1200通を超え  
多くの回答で、例年より  
多くの具体的な記述が  
現地の写真を撮る  
要望をまとめて  
書だけではなく  
早く市へ要望  
提出したいと  
思っています。

## 市政アンケート、昨年以上の反響

が大変

「介護保険が使いに

くい」「親の介護の

ため退職したが親の

年金だけで生活でき

ない」など。今の状

況を重く受け止め、

住所の記載がある方

は訪ね、さらに詳

く伺いました。議会

でも取り上げ市民が

少しでも安心して暮

らせよう引き続き

頑張ります。



## 9月議会は8日開会、私が代表質問をします

### 9月議会に向けた市政懇談会

市民の要望が議会  
に届きますように



日・時 9月4日(月)  
18時30分~

場所 市川市文化会館  
第3会議室

岡田県議とともに  
行徳野鳥観察舎横  
野鳥病院の方にお伺いました。観察舎の一日も早い再開を希望する方たちからも強い要望が寄せられました。渡り鳥を研究する渡り鳥を研究する



## 8月27日行徳で行われた防災訓練

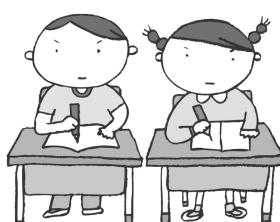
8月4～6日埼玉  
で行われた全国保育  
合同研究集会、最終  
日に参加しました。



7月16日、東日本大震災で千葉県でも津波の影響があった銚子を日本共産党市川後援会の皆さんと訪ねました。堤防を造る等の対策が進められていました。新鮮な魚の買い物や銚子電鉄に乗車する日帰りツアーチを堪能しました。



メディアパーク  
に展示されている教科書を見に行きました。来年度から浦安と市川の小・中学校で使われるものです。特に道徳と歴史の教科書に興味があります。



現在でも保険料が高く支払いが困難で、病院にかかる人にはいる市川では、他市に比べ負担軽減のための要件が非常に少なく、その上滞納者の督促も厳しいのが現状です。来年度は据え置



どちらの分科会でも来年の4月に市町村が主体の国保の事業が都道府県主体の事業に変わるという問題について学びました。全国ではこれまで2回の保険税の試算を行いましたが地域によつてかなりの加入者の負担増になり、公表出来ない

くことを決めていますが、2019年度からいきなりになるかはまだ決まっていません。国は激変緩和せん。国は激変緩和のため予算をつけています。8月末の3回目の試算は、公表するようになります。これ以上に負担増にならないよう、誰もが安心して病院にかかり治療が受けられるよう国保の充実を求めていきます。

来年4月からの国民健康保険税の  
広域化でどうなるのか

ひとり」と学ぶ時代の夏休みは母の実家がある茨城県守谷で過ごすことが多く祖父母にお世話になりました。物知りで穩やかで背筋のピンとした祖母は憧れもありました。「いいと思うことをしなさい、思いは言葉で伝えなさい」というようなことを話していました。今思うと洒豪な祖父には言いたいことも言えない自分に対しての言葉でもあつたようだ。戦時中は疎開してきた家族の面倒を見ながら2男4女を育て、いつ寝ているのかと思うほど畠仕事と家事をこなしていました。きつときつになつても祖母を超えることはできなないと、毎年夏の終わりになると思うのです。